



スーパーコンピュータ「富岳」©RIKEN



豊岡演劇祭「バックスの信女—ホルスタインの雌」©igaki photo studio



起業プラザひょうご / 国連機関 (UNOPS GIC)

ポストコロナ
新時代へ

感染再拡大防止の徹底に
ご協力をお願いします

緊急事態宣言は解除されましたが、感染者急増の気配があり、ウイルスの変異株による感染も増加傾向にあります。感染を再拡大させないよう、引き続き皆さんのご協力をお願いします。

- ▶ 日中も含めて、不要不急の外出自粛をお願いします。
- ▶ 不要不急の都道府県間の移動や、感染リスクのある場所への出入りの自粛をお願いします。
- ▶ 卒業旅行、謝恩会、歓送迎会、花見による宴会などを控えるようお願いします。
- ▶ 定期的な換気、周りの人との一定の距離の確保など、「3密」の回避をお願いします。

- ▶ 会食は、同居家族を除いて1グループ4人以内とし、長時間の飲食は控え、会話の際は扇子やマスク等により飛沫^{ひまつ}を防止してください。
- ▶ 毎日の検温、手洗い、マスクの着用など健康管理を徹底し、症状のある場合は外出を控えるとともに、すぐにかかりつけ医などに電話で相談してください。

※この情報は3月15日現在のものです

ポストコロナ 新時代に挑む

兵庫県知事 井戸敏三



新型コロナウイルス 感染症対策

新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方へのお悔やみと、感染された方へのお見舞いを申し上げます。また、医療従事者、事業者、県民の皆さんのご協力に、心から感謝を申し上げます。

兵庫が丸となって新型コロナウイルス感染症対策（以下、コロナ）を徹底し、収束させるためにも、一層のご協力をお願い申し上げます。

コロナが変えていく 社会

歴史を振り返ると、感染症の流行は社会を大きく変えてきました。コロナ終息後にも、新たな価値観が生まれ、時代の潮流となって、社会のありようが変わっていく。ポストコロナ社会の到来です。こうした社会の変化に対応していかなければなりません。

デジタル化の加速

変化の一つは、デジタル化の加速です。コロナ禍で、2年分のデジタル改革が2カ月で起きたといわれています。

今後、製品やサービス、ビジネスモデル、業務プロセスの変革が急速に進むでしょう。行政も例外ではありません。人々を時間や空間、身体的制約から解放するデジタル改革に取り組み、未来を先取りして兵庫の優位を確立することが求められています。

変化に強い 産業構造への転換

二つは、変化に強い産業構造への転換です。阪神・淡路大震災後、重厚長大産業中心の兵庫では、産業のソフト化など産業構造の転換や高度化への遅れが懸念されました。しかし、技術革新による付加価値化や新分野への展開などにより、ものづくり産業を基礎とした新しい活力が生まれました。

さらに、デジタル化による新たな展開が期待されています。環境変化にシなやかに対応し、新たな価値や市場を生み出していけるかが問われています。

地方回帰

三つは、地方回帰です。東京の過密は、効率性、近接性、交流の機会など、優位

を保ってききましたが、過密の弊害も認識され始めました。特に、このコロナ禍において著しくなっています。

密から疎へ。この機を逃さず、地域創生、交流・環流の取り組みを加速させ、多くの人々が暮らし、働き、学び、活動し、訪れる、活力に満ちた兵庫を創り上げるべきです。

ポストコロナ時代、 「すこやか兵庫」の 実現へ

コロナとの闘いが続く中、感染者等への誹謗中傷など、社会のゆがみも露呈しました。一方、人と人との交流を制限したことで、家族など身近な人の大切さに気付いた人も多くはあります。

社会の絆を再構築し、人暮らし、産業、地域が個性を生かしながらバランスを保ち、一つになって輝いていく。これは、私たちが創造的復興の過程で得た財産ではないでしょうか。今、この貴重な経験を生かす時です。

そのためには、コロナ禍を乗り越えた先にある兵庫の姿を描き、その具体化への道筋をつけなければなりません。

県民の皆さん、ポストコロナ時代にふさわしい「すこやか兵庫」の実現に向け、ともに手を携え、挑戦しようではありませんか。

兵庫2030年の展望 リーディングプロジェクトの推進

「兵庫2030年の展望」で描いた「すこやか兵庫」の実現に向け、令和3年度はポストコロナ社会を先導するための取り組みを強化。展望で掲げた「3つの基本方針」と「11の将来像」の下、兵庫県庁をデジタル社会にふさわしい組織に変革する「スマート県庁推進プロジェクト」を新たに加え、17のリーディングプロジェクトを推進します。

兵庫2030年の展望の全体図

目指す姿

「すこやか兵庫」の実現

5国を活かし 日本を先導 世界につなぐ

未来の活力の創出

人口が減っても活力が持続する兵庫を実現

暮らしの質の追求

豊かな生活ができる兵庫を実現

ダイナミックな交流・環流の拡大

活躍の舞台が広がる兵庫を実現

兵庫の2030年の姿

未来の活力

- 価値創造経済
- 全員活躍社会
- 未来に挑む人づくり
- 環境先進地
- 御食国ひょうご

暮らしの質

- 充実する「自分時間」
- 子育て安心社会
- 進む健康長寿
- 安全な暮らし

ダイナミックな 交流・環流

- 交流五国
- 豊かな生活空間

- 1 起業立県実現プロジェクト
- 2 先端産業創造プロジェクト
- 3 スマート県庁推進プロジェクト
- 4 全員活躍プロジェクト
- 5 価値創造人材育成プロジェクト
- 6 水素社会先導プロジェクト
- 7 御食国ひょうごプロジェクト
- 8 豊かな森・海再生プロジェクト

- 9 スポーツ・フォー・ライフ推進プロジェクト
- 10 つながる芸術文化プロジェクト
- 11 在宅強化・健康寿命延伸プロジェクト
- 12 防災・減災加速プロジェクト
- 13 まちなか安心プロジェクト
- 14 体験ツーリズムプロジェクト
- 15 外国人安心プロジェクト
- 16 次世代移動・買い物プロジェクト
- 17 空間再生プロジェクト

県ビジョン課
078 (362) 3072
078 (362) 3950



兵庫2030年の展望 検索

当初予算案

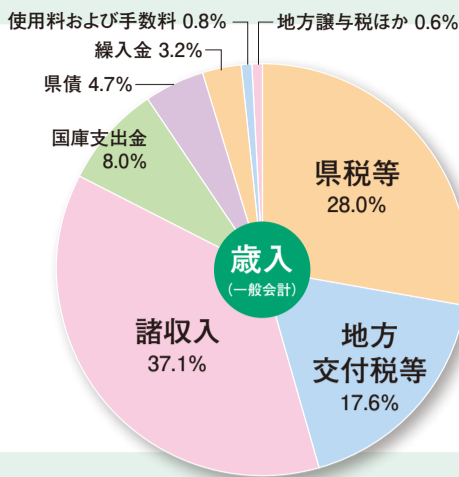
行財政構造改革の成果を生かしつつ適切な行財政運営を推進するため、選択と集中を徹底。新型コロナウイルス感染症の影響による財政環境の悪化を踏まえ、緊急・臨時的に事

業の抜本的な見直しを行います。必要な財源を確保した上で、ポストコロナ社会を見据え、「すこやか兵庫」の実現に向けた取り組みを進めるための予算を編成しました。

※令和3年度の予算と事業は、県議会の議決をもって成立します

問 県財政課
078(362)3082
F 078(362)9049

歳入



県税等 (7647億円)

新型コロナウイルス感染症の影響による企業業績の悪化や民間消費の低下を反映した法人関係税の減(△311億円)や地方消費税の減(△127億円)、特別法人事業譲与税の減(△355億円)等により、前年度を919億円下回る7647億円を計上しました。

地方交付税等 (4794億円)

国債 (1283億円)

国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策(令和3年度～7年度)」が2年度第3次補正予算による措置となったことから、防災・減災、国土強靱化緊急対策事業債が皆減(△110億円)する一方、新型コロナウイルス感染症の影響による地方税等の減収に対する措置として新たに発行が認められた特別減収対策債の発行(146億円)等により、前年度を32億円上回る1283億円を計上しました。

行政経費 (1兆5464億円)

新型コロナウイルス感染症対策として、医療提供・検査・相談体制の確保・充実を図るための新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金事業の皆増(294億円)や当初予算では過去最大の融資目標である8千億円を確保した中小企業制度資金貸付金の増(+7126億円)等により、前年度を7617億円上回る1兆5464億円を計上しました。

その他経費 (2154億円)

県庁舎等再整備のための県有施設等整備基金への積み立ての抑制(△30億円)等による基金積立金の減(△54億円)等から、前年度を74億円下回る2154億円を計上しました。

投資的経費 (1951億円)

国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策(令和3年度～7年度)」が2年度第3次補正予算による措置となったため、別枠事業である防災・減災、国土強靱化緊急対策事業が皆減(△214億円)したこと等により、普通建設事業費全体では、前年度を270億円下回る1851億円を計上しました。

財政運営の目標 (主なもの)

区分		令和3年度当初	10年間の目標
フロー指標	要調整額 (収支不足額)	0	毎年度: 収支均衡
	県債依存度 [臨時財政対策債等除き]	8.4%	毎年度: 毎年度の地財計画の一般財源総額に対する地方債 [臨時債等除き] の割合以下
	実質公債費比率 (単年度)	15.7%	毎年度: 18%未満
ストック指標	県債残高比率 [臨時財政対策債除き]	250.3%	令和10年度: 150%程度
	将来負担比率	349.0%	令和10年度: 280%程度
	県債管理基金積立不足率 [借換債縮減影響除き]	20.7%	令和10年度: 15%程度

加えた14カ月予算での普通建設事業費は、前年度と同規模の2630億円を計上しました。

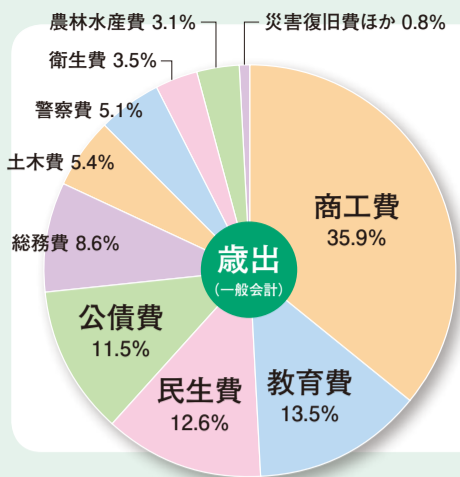
公債費 (3135億円)

地方税の徴収猶予に伴い生じる2年度の一時的な減収に対応するため発行する徴収猶予特例債(1年債)の償還(60億円)や、平成29年度に発行した臨時財政対策債の元金償還開始等による元金の増加により、前年度を117億円上回る3135億円を計上しました。

令和3年度 当初予算案

総額 4兆6,068億円
対前年度比 116.5%

一般会計	2兆7,304億円
特別会計	1兆6,047億円
公営企業会計	2,717億円



国庫支出金 (2197億円)

新型コロナウイルス感染症対策として入院医療体制の強化等に取り組むための新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の増(+294億円)や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(単独分)の増(+1117億円)、衆議院議員通常選挙事務費の増(+27億円)

歳出

人件費 (4600億円)

2年度給与改定を反映したことによる職員給等の減(△31億円)等から、前年度を30億円下回る4600億円を計上しました。